

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030050

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 次期計画内容 L=70m(操業船10隻) ○事業費 14,000千円 ・建設費 14,000千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 / 町補助金 7,000千円
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	しじみ貝増産事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	漁場造成(耕うん、施設設置に伴う実績調査)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	①62.1ha(耕うん)、②1回(実績調査)	関係例規・法令名		
住民参加	無	関係個別計画名		

131	全体計画 事業内容	平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容	
計 画 内 容	(1)耕うん オニシ湖において耕うんを実施し、しじみ貝の生息環境の改善による生存率アップを図る。 (2)棧橋の設置に伴う漁獲等実績調査 年1回実施 ○総事業費 5,580千円 ・耕耘 ○補助率 1/2(補助残) 市町村事務費補助金は全額補助	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 2,000千円 用船料、賃金他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 265千円 ・町補助金 602千円 ・自己資金 603千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円	
		事業費(千円)	1,776	692	542	542	0
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	270	90	90	90		
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,506	602	452	452			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	378	90	288	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	177	90	87			
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	201	0	201				
関 連 事 項	特定財源の名称 環境・生態系保全活動支援事業(推進活動支援事業)補助金(90千円)	【評価・実績】	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 16日 耕耘面積 実:5.25ha 延べ:9.00ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 C-継続/拡充	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 40日 耕耘面積 実:16.5ha 延べ:36.5ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	漁場造成 20.7ha	漁場造成 20.7ha	漁場造成 20.7ha	調査実施	調査実施
		年度達成率	13%	53%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	5%	21%	21%	21%	21%
		事業進捗状況	☆☆	☆☆☆			

事業名	しじみ貝増産事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	安井雅憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	漁場造成(耕耘)面積
【抱える課題やニーズは】	オニシ湖のしじみ貝成育が悪く、資源の増加が見込めない。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁場耕耘によるオニシ湖の底質改善を実施し、しじみ貝の生存率の向上を図る。	①	目標年度 実績値
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	資源量の増加による安定した漁業種の確立、生産額の向上を目指す。	漁場造成(耕耘)面積	平成26年度 20.7 ha
			実績値 16.5 ha
		②	達成度 79.7 %
			目標年度 実績値
			平成26年度
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	事業実施に係る負担金	水産多面的機能発揮対策事業の活動組織(雄武地区環境改善グループ)に対する地元負担金の支出	
	事業の活動組織(雄武地区環境改善グループ)に対する指導	活動組織の事業実施に係る書類、現地確認および指導	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	健康食品に位置づけられるしじみ貝は、オニシ湖において相当数の生息が確認されているが、漁場の未整備により漁獲はほとんどないことから、見込まれる需要増に対し、この卓越資源を減耗させず安定した漁業種とするため、早期対策を図る必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	60日の活動予定のところ、天候や従事者の事情により活動日数が40日に減ったが、モニタリング結果を基に漁場に優先順位を決めて耕耘を実施した。次年度のモニタリングで効果を検証する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	平成25年度から国の新規事業である水産多面的機能発揮対策事業を活用することにより、町負担金が減じられ、また、活動組織の自助努力と工夫により事業費の圧縮も行われている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	国、道による補助残の2分の1を自己財源で実施している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
天候や作業確保の関係から事業量が減となったが、耕耘箇所の実施優先度を決めたことで、次年度へとつながる効果的な活動となった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
耕耘作業は、モニタリング結果によりH25から3年程度の継続実施が望ましいとの考察から、次年度も耕耘を実施し、湖の底質改善及びしじみ貝の生存率向上による増産を図る。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止